

平成28年度 門川町立門川小学校 学校関係者評価書

学校の教育目標「自ら学び 心豊かに たくましく生きる 子どもの育成」

重点目標〔 1 基礎学力の定着 2 基本的な学習習慣の定着 3 読書活動の推進 4 基本的な生活習慣の定着 5 学校・家庭・地域が連携した教育の推進 〕

【 4段階評価： 4～期待以上 3～ほぼ期待通り 2～やや期待を下回る 1～改善を要する 】

重点目標	目標達成のための手段(評価指標)	学校の自己評価(分析・考察・改善策等)	自己評価	関係者評定	学校関係者評価【意見・感想・改善策等】
1 基礎学力の定着	(1) 分かる・できる授業の充実	○ これまでの授業改善や補充指導の取組等により、CRTにおいては、目標値までには至らなかったものの、国語・算数ともに成果が出始めてきている。また、下位層の割合も減少傾向にある。これまでの取組を今後も継続するとともに、内容の充実を図っていく。 △ 授業における学習態度指導の徹底及び家庭学習の習慣化と内容の充実については、一層の定着を目指して、今後も重視しながら取り組んでいく。	2	2.7	○ 目標値には至らなかったものの、成果が出始めているため、さらなる取組の充実を図っていくとよい。また、その成果を児童にも返し励ますことで、やる気と元気を起こさせるとよい。 ○ 下位層の割合が減少しているのはとてもよい。今後も取組を継続してほしい。 ○ 人を育てることを考えた時に、学力テスト等はその一部にしかすぎないのだが、将来何をするにもテスト等が第一関門となるため、教える側と習う側の気持ちや姿勢が合致することが肝要である。 ○ 学習は予習・復習が大切であるため、定着するよう学校で指導を行うことが必要である。 ○ 何のために勉強をするのかということを経験することが大事である。 ○ 文字を書く、文章をつくるには、本を読むことが一番である。メディアに頼るのではなく、書くことと読むことをしっかりと身に付ける必要がある。 ○ 家庭での読書を増やす取組を継続して行って欲しい。 ○ 図書委員会の働きかけを増やし、親も一緒に図書館に出向き、本って楽しいし役に立つということを子どもたちに理解させるような指導が重要である。
	(2) 学習内容の定着を図るための補充指導の充実	* CRT(標準学力検査) ・平均得点率の全国平均との差(点) [目標値]国語±0・算数±0 H28:国語△-2.8・算数△-0.4 (H27:国-3.0・算-2.6) ・評定1出現率(%) [目標値]国語10.0%以内・算数10.0%以内 H28:国語△11.5%・算数△13.0% (H27:国12.7%・算15.5%) * 児童自己評価「ほぼ毎日しっかり聞いている」 [目標値]95%以上 → H28:△92.4% (H27:93.4%) * 児童自己評価「宿題・宅習:ほぼ毎日提出している」 [目標値]95%以上 → H28:△93.4% (H27:91.9%)			
2 基本的な学習習慣の定着	(3) 基本的な学習習慣の定着	△ 委員会等で読書の働きかけを行ってきたことで、読書冊数は増えてきたものの、図書室の利用はさらに推進する必要がある。 * 1か月の読書冊数[目標値]20冊以上 H28:○22.3冊 (H27:18.6冊) * 1年間の年間貸出冊数[目標値]30冊以上 H28:△26.6冊 (H27:27.7冊)	2	2.3	
3 読書活動の推進	(4) 読書活動の推進	△ 委員会等で読書の働きかけを行ってきたことで、読書冊数は増えてきたものの、図書室の利用はさらに推進する必要がある。 * 1か月の読書冊数[目標値]20冊以上 H28:○22.3冊 (H27:18.6冊) * 1年間の年間貸出冊数[目標値]30冊以上 H28:△26.6冊 (H27:27.7冊)	2	2.3	
4 基本的な生活習慣の定着	(5) 学校における基本的な生活習慣の定着	△ 教師による日常指導のほか、児童による委員会活動と連携した取組が定着してきたことで、一定の成果を上げてきているが、さらなる充実が必要である。 * 児童自己評価「ほぼしっかりとやっている」[目標値]85%以上 ・あいさつ:△84.6%・ろう下歩行:△80.3%・無言清掃:△79.7% ・整とん(くつ箱):○94.9%・整とん(トイレスリッパ):△83.6%	2	2.3	○ 児童による委員会活動を今後も育てていってほしい。 ○ 清掃のルールがしっかりとしていれば、黙々と清掃作業をすることができるのではないかと考える。
	(6) 家庭における基本的な生活習慣の定着	○ 「子どもの成長を支え育む“かどがわ4か条”」を含めた家庭と連携した取組については、目標値までには至らなかったものの、昨年度の数値を上回ってきている。今後もPTAと連携しながら継続した取組を行っていく。 ○ 夏休み中のラジオ体操については、参加者が増えてきている。少しずつではあるが、気運が高まってきている。 * 家庭における共通実践事項の家庭自己評価 ・メディアに関する約束の設定「設定している」 [目標値]全校90%以上 → △70.2% (H27:66.3%) ・家庭学習の見守りの実践「いつも・時々確認する」 [目標値]全校90%以上 → △88.6% (H27:85.2%) ・家読の時間の設定「設定(週3～月1)している」 [目標値]全校70%以上 → △55.1% (H27:57.5%)	2	2.7	○ ラジオ体操に地区の高齢者が多く参加してくれている。さらに増えていくことを願っている。 ○ 目標[目標値]を掲げ、それに近付くように努力することは、必ずプラスの方向に繋がっていくものである。 ○ 要は家庭である。学校と連携する協力体制が必要である。 ○ “かどがわ4か条”で目標をはっきりしているのと、それに順応して生活すれば、好結果も見えてくると考える。 ○ 家庭学習の確認だけではなく、親子で勉強することもよいと思う。
5 学校・家庭・地域が連携した教育の推進	(7) 家庭における共通実践事項の取組の推進	○ 「子どもの成長を支え育む“かどがわ4か条”」を含めた家庭と連携した取組については、目標値までには至らなかったものの、昨年度の数値を上回ってきている。今後もPTAと連携しながら継続した取組を行っていく。 ○ 夏休み中のラジオ体操については、参加者が増えてきている。少しずつではあるが、気運が高まってきている。 * 家庭における共通実践事項の家庭自己評価 ・メディアに関する約束の設定「設定している」 [目標値]全校90%以上 → △70.2% (H27:66.3%) ・家庭学習の見守りの実践「いつも・時々確認する」 [目標値]全校90%以上 → △88.6% (H27:85.2%) ・家読の時間の設定「設定(週3～月1)している」 [目標値]全校70%以上 → △55.1% (H27:57.5%)	2	2.7	
総評	少しずつ結果が上向いてきているので、先生方も自信をもち、来年度も今年度の結果を少しでも上回るように指導をしていってほしい。				